

審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	第3回 立川市地域福祉推進委員会・第5次立川あいあいプラン21推進委員会 合同会議
開催日時	令和2年9月11日（木曜日）午後7時00分～9時00分
開催場所	立川市総合福祉センター視聴覚室
次第	1. 委員長あいさつ 2. 前回の振り返り 3. 多機能拠点「（仮称）地域福祉アンテナショップ」の設置に向けた検討（グループワーク） 4. グループワーク発表 5. 委員長よりコメント 6. その他、次回日程等
配布資料	1. 第1回作業部会議事録 2. 第1回作業部会グループワークまとめ 3. 地域協議会委嘱状 4. 拠点検討用資料
出席者	〔委員〕 熊田博喜（委員長）、宮本直樹（副委員長）、石田芳朗、伊藤正人、井村良英、小澤清富、小野寺隆司、菊池萌、菅根浩子、高田利花、藤原紀子、宮崎彩乃、文淑礼、山川清隆 〔事務局〕 <立川市> 亀井寿美子（福祉総務課長）、高橋知宏（地域福祉推進係長）、小安裕史（地域福祉推進係） <立川市社会福祉協議会> 山本繁樹（地域活動推進課長）、枝村珠衣（経営総務係長）、伊藤尚拡、栗野恵莉菜（経営総務係）、柳澤実（地域づくり係長）、小林伸匡（地域づくり係） <オブザーバー> 伊藤和香子（立川市福祉保健部高齢福祉課地域包括ケア推進係長）
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	今回は令和2年11月13日（金）午後7時00分～9時00分、立川市役所で第2回の作業部会を開催。これまでの検討の内容は委員長と事務局で引き取り、予算立てに反映させていく。次回以降はまるごと相談、相談支援包括化推進員などについて検討していく。
担当	立川市社会福祉協議会 地域活動推進課 電話 042-529-8300（代表）

主な意見、質疑応答

【1. 委員長あいさつ】

<委員長> 7月から多機能拠点について議論をいただいた。1回目は拠点のイメージを膨らませていただいた。2回目はグループワークで、実際にどのような拠点が必要

か、具体的にご検討いただき、今回を迎えた。今回はさらに具体的に議論をいただき、形にしていければと思う。

【2. 前回の振り返り】

＜委員長＞多機能拠点という言葉には一つの場所で多機能を備えるというイメージ（点の多機能）があるが、エリアの中で複数の拠点がそれぞれの強みを発揮することで多機能を実現するやり方（面の多機能）もあるということを前回の作業部会でお示しいただいた。立川での展開を検討していく際には、エリアに合わせて点の多機能、面の多機能のどちらが良いか、また、公共施設と空き店舗ではそれぞれ、場の特性や管理方法も異なるため、その点も念頭に置いて議論をしていただきたい。

財源については、市の補助金を前提として考えるが、それだけでなく自主財源をどのように確保していくかについても考えていく必要がある。

＜事務局(市)＞本日のグループワークのご意見を基に、財政当局と交渉をしていくため、今回も忌憚のないご意見をいただきたい。

【5. 委員長よりコメント】

＜委員長＞それぞれのグループで面的な展開をしていくという方向性が見えた。地域の中で繋がって力を発揮していくことが大事であることが確認された。拠点ごとに特化した取り組みができると良いと思う。実際に拠点でビジネスをすることについては公的な場所でどの程度許されるかはしっかりと確認をする必要がある。今回提案いただいた内容を中心に各拠点で展開していけると良いが、それぞれの地域特性を理解した上で議論していくことが重要であることが本日のグループワークの様子からも伺えた。実際に展開する際にはそれぞれの地域の方に対して説明会を実施するなどしながら協力を仰いでいくことが必要である。

以上